

すから都會の舗装道路の上を十分と歩けば
疲れて仕まひます。田舎の田圃道に出ると
三十分位歩いて疲れなうつたへません。
毎日田舎の田圃道で歩くけいこをさせてあ
ますが、この子供には疎開といふこと一
般と健脚になると思ひます。

○ この間は三日ばかり子供と遊んでしまし
た。三十分ばかり田舎道を歩いて私の生家
へつきました。庭にトマトが赤く房になつ
てゐました。トマトの房を持つては不思議
さうにみてゐました。

井戸水を汲んで手を洗はせました。井戸
水はどうしてつめたいのときかれました。
水道の水ばかり使つてゐた子供には當然で
る間であります。厩のところに行つて馬が
食物を食べてゐるところを珍らしさうにみ
てゐました。馬は尻つぼを振りながらたべ
てゐるねと言ひました。この日は子供と一
緒になつて遊ぶつもりで、小川へ出て網で
魚をすくひに行きました。なまづの子やふ
ながたくさんおれしました。なまづをみては
おたまちやくしと言ひ、ふなをみては金魚
だと言つてゐます。なまづとおたまちやく

しとはどうちがひますが、金魚とふなどは
どうちがひますが、家に歸つてから勉強し
ました。

だんだん魚をすくつてゐる中に、子供は
「お父さん」をすくひなさい、おそをす
くひなさいと言ふやうになり面白い魚と
りなりました。

○ 心なにして疎開地の生活は遊んでゐる
中に自然に親しみを持つてきて、いろいろ
と子供ながらに注意して自然をみるやうに
なります。

○ お友人のことについては特に心配したの

鳥取に疎開して

私共疎開致しましたのは三月末でござい
ましたか、土地に慣れぬ故か生活の變化が
又それ以上に母親の不注意の爲でございま
せうか六歳四歳三歳の幼児が順々に大腸カ
タル、肺炎等の大患に罹りまして、その度
にこの子を死なせるのではないかと不安に

ですが、親が心配するほどでもなく子供は
名も知らない友人を幾人もつくつてしまひ
ました。これも幼稚園教育のおかげで、友
人と遊び方ができてゐるため、仲よく遊ん
でゐます。今では田舎の方言になじむとい
ふことがなくなりました。夕食の時など、
「、、、さんはこんな言葉を使ふが、そ
んなこと言ふものではないね」など言ふこ
とがあります。うちの子供は唱歌遊戯や人
形作りなどよろこんでやるので、却つて近
所の子供から大事にされて遊んでいただけ
ます。(筆者は東京女子高等師範學校訓導)

畑村 春子

怖きながら看病致しました。この土地には
幸にお醫者様がありますのでございませうが
何しても東京に居りましたようなわけには
まいりませんです。その爲はつと心を安め
る暇もなく子供等の顔色や便の工合や寒暖
の度や、種々しつゝこい程注意を與へなが

ら毎日を生活してまゐりました。

此處は純農家の部落でございます、約一ヶ月半前に田植が終りました。家の前には「キテ」と申します三尺程の巾の用水の小川が水を満々とたゞへて急流をなして流れて居り、毎年一人や二人の幼児が犠牲となつてしまふ由でございますので、私のお守の役目は一層重大となり、妙子六歳洋太郎四歳安子三歳の他に當家にも四歳になりま

す通子といふ女の子も居り、幼児四人のお守りを致して居ります。未だ水浴びもさせませんが、いよ／＼この土用の暑さが續きましたら、監督付で子供の好きな川で少し遊ばせてやり度いと存じます。今年は雨が少く川下の方面では田植が困難とか申しますのでこの「キテ」の水も「通し水」と稱して一晝夜とか十二時間とかの間はこの水を川下へ澤山通して上げますので、この小川が七八寸位の深さになります。すると子供等はパンツ一枚になり、大喜びで入ります。近所の子供はドセウ、小鮎、タニシ等をすくひます。先日來暑さが續き、この「通し水」がありました翌日、朝から妙子がゴロゴロ寝轉んでダルイ／＼と申しますので、

又もや悪い病氣かと冷やりと致しました、が、別に熱も無くよく考へて見ましたら、前日この通し水の日じ暑さにまかせて川に許り入つて居りましたので、きつと體がダルのだらうと想像いたしました。

子供等の言葉の變化も面白く、妙子は殊に土地の言葉に慣れ、近所の子供等が遊びに來ても平等に言葉を使つて遊んで居ります。又反對にこの通ちやんは「東京言葉」が泌みて來て他所の方から「通ちやん東京言葉が上手になつたのね」と言はれて居ります。

服装の點ではどうしても手不足やら、絲布等の不足の爲都會よりも穢いのでございますが、この夏から秋も過ぎ冬に入りますと、若し私共も冬までも疎開して居らねばなりませんようでしたら、この土地の子供等の様に、綿の入つた和服類でない山陰特有の雪が多く、濕氣の多い土地故、洋服では、寒からうと考へて居ります。この邊では綿の入つた着物などでも普段着は汚れても解かずにそのまゝ丸洗ひにして着せて居ります。

食物は私共は配給米を頂いて居ります。

一日の割當が六・四四合でございますので、いくらどうしても足りませず、一日の割當を八合にきめて（割當との不足分はこの家で貰つて居ります）。一度或は、二度お粥で一食のみ御飯にして居りますが、子供等の食慾はなか／＼旺盛なものには困つて居ります。しかしこゝへ來ての當分の間のお客さん扱ひの期間も過ぎて、毎日お粥を頂いて居ても東京で配給の鍛鍊をされて居りますので、野菜が少し手に入りますので、東京の方々のことを思ひ勿體ないと思つて暮して居ります。

田舎では時々種々の行事がございます、私共の経験したのでは「卯月八日」庚申様「笹巻」「八幡講」「シロミテ」「辨天講」等と申しまして天地、田畑の神様への祈りや感謝や又お祝ひや慰安の爲に、その時によりお餅だとかその他煮物をして子供へ致します。その時は我々もお相伴にあづかりますので唯一の楽しみでございます。先日は氏神様の御縁日の夕方「御籠り」を致しました。これは田植の後の祈念と感謝の爲の「シロミテ」で、御飯でお結びを作り、煮物をして「キリガメ」といふ大きい重箱に入れて、

第八十五帝國議會開院式に當り賜はりたる勅語

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク朕カ外征ノ師ハ勇戰奮闘隨處ニ勁敵ヲ破リ大ニ威武ヲ宣揚セリ而シテ大東亞ノ建設ハ駸駸トシテ進ミ友邦トノ締盟モ亦益々固シ朕深ク之ヲ懌フ然レトモ敵ノ反抗愈々熾烈ニシテ戰局日ニ危急ヲ加フ皇國カ其ノ總力ヲ舉ケテ勝ヲ決スルノ機方ニ今日ニ在リ卿等宜シク衆ニ先ンシテ憤激ヲ新ニシ團結ヲ鞏クシ奮テ敵國ノ非望ヲ破碎シ以テ皇運ヲ無窮ニ扶翼スヘシ朕ハ國務大臣ニ命シテ特ニ時局ニ關シ緊急ナル議案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭セヨ

地方長官御激勵の御言葉

戰局危急皇國ノ興廢繫ツテ今日ニ在リ汝等地方長官宜シク一層激勵精衆ヲ率キ官民一體戰力ヲ物心兩面ニ充實シ以テ皇運ヲ扶翼スヘシ

右二つの勅語竝に御言葉を拜し、現戰局を深く御軫念あらせらる。天皇陛下の大御心を拜察申し上げて誠にかしこき極みである。われ等は力の限り、各々の職場に邁進することを誓ふのである。(編輯子)

箸、小皿、薬罐等を持参してお詣り致しました。村の人々も矢張り集まり、各自が夫夫禮拜して後がヤ／＼と賑やかに御馳走を頂いて歸宅致しました。又近く「釜焼」とか「番盆」とか「七夕様」とか来るさうで、子供等もその行事を楽しんで待つて居ります。

これ等は楽しい生活でございますが中には中々不自由も多く子供等も東京を戀しがる時がございます。「オヂイちゃんヤオ父ちゃん今頃御飯カシラ？」等とさきまます。

鳥取市へは三里程離れて居りますが、市には幼稚園もあるとかでございますが、それよりも早く東京へ歸つて幼稚園へ通はして頂けるようになる日の一日も早からんことを心から念じて居ります。

しかし「一度び警戒警報が発令されると子供等が疎開してゐるのが何より安心で有難い」といふ残留組の父や主人から便りがまゐります度にこの疎開の責任の重大を深く感じて奮ひ立つて居ります。

百姓家の忙しさが目の前にチラついて落付いてお便りが出来ませす、本當に無難な文で恐縮でございます。

(筆者は東京高等蠶絲學
校教授畑村又好氏夫人)